

基本目標1 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進**推進項目**

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

事業の進捗状況

- ・「働き世代を対象にしたスポーツ実施率の向上」及び「コロナ禍における健康増進に取り組む機会の創出」をねらいとして、スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウオーク」イベントに参加した。5月の「さつきラン&ウオーク」は企業対抗戦で、市独自にウオーキングの部の上位3チームに記念品を贈呈した(第1位 ト一屋、第2位 元気王国、第3位 東北東ソー化学)。10月の「オクトーバーラン&ウオーク」は自治体対抗戦となり、ウオーキングの部上位50名に記念品を贈呈する予定。
- ・スポーツ推進委員会主催の「第6回ニュースポーツ大会(カローリング、フロアカーリング)」に地域住民約50名が参加し、「する」スポーツ機会の創出に取り組んだ。
- ・スポーツ少年団本部では、各専門部会が主体となって「酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会」を開催した(野球・サッカーなど6種目で900名の団員が参加)。
- ・東北公益文科大学と連携し、体育系クラブ学生の協力のもと、市内小学校のうち9校(富士見小、亀ヶ崎小、松原小、松陵小、泉小、西荒瀬小、新堀小、浜中小、黒森小)において、子どもの体力向上のほか、運動やスポーツを楽しんでいる子どもを増やし、チャレンジするきっかけづくりを目的に、体育の授業の一部分で鬼ごっこを実施している。
- ・山形県スポーツ推進委員研究大会、東北地区スポーツ推進委員研修会岩手県大会が開催され、基調講演会や研究協議会等への参加を通して、スポーツ推進委員としての資質の向上を図った。
- ・中学校運動部活動の地域移行について、9月下旬に酒田市総合型スポーツクラブ情報交換会を開催し、関係者へ部活動改革体制整備事業の説明及び情報交換を行った。

現状評価

- ・地域のスポーツ振興を担う体育振興会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を推進することは、幅広い年齢層にスポーツを楽しんでもらうために有効な手段であることから、今後も活発なスポーツ活動が実施できるように各団体と連携して取り組む必要がある。

令和6年度の予算要求に向けて

- ・多くの子どもたちがスポーツの楽しさを知り、日常的にスポーツに取り組む習慣を付けさせながら、健全な心身の育成を図るため、引き続き事業に取り組む。
- ・令和4年度から取り組んでいる「鬼ごっこ」の事業については、子ども達の体力向上はもちろんのこと、関わっている大学生の人材育成に繋がり、また、スポーツが楽しいと感じ

- る子どもの増加が期待されることから、引き続き事業に取り組む。
- ・令和 4 年度に市主催事業として実施した「スポーツ能力測定会」については、運動好きな子どもを増やし、何事にもチャレンジしていく子ども達を支援していくことを目的として令和 6 年度に実施できるよう要求していく。
 - ・令和 3 年度から取り組んでいるスマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウオーク」イベントに継続して参加し、スポーツ実施率向上につなげていく。ウオーキング事業は、健康課やデジタル変革戦略室と連携を図りながら事業実施していくことを検討する。
 - ・コロナ禍で高まった健康志向を活かし、関係団体とも連携してニュースポーツ（モルック等）の普及に努め、スポーツ活動の充実等に取り組んでいく。また、昨年度末にスポーツ推進委員会で実施した、パラアスリートの講演会等を継続的に開催して、共生社会の中で障がい者スポーツへの理解を深めていく。
 - ・運動部活動改革については、今後も関係団体等と情報交換を行っていく必要があると考えするため、学校教育課をサポートしながら進めていく。

数値目標

KPI		指標値 (R6)	現状値	現状値 (R4)
	成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	50% (R11 60%)	H29 31%	52.4%
子ども(小学生)のスポーツ実施率	56% (R11 60%)	R元 51.4%	47.9%	
スポーツ行事への参加者数	37,700人 (R11 38,000人)	H28 36,180人	21,961人	

関連事業 (令和 5 年度)

No.	事業名	活動・手段指標	目標値等	予算額
1	子どものスポーツチャレンジ支援事業	スポーツ少年団団員加入率	35%	3,768 千円
(事業概要) ○鬼ごっこによる体力向上 対象／富士見小、亀ヶ崎小、松原小、松陵小、泉小、西荒瀬小、新堀小、浜中小、黒森小 (希望校の中から選定し開催) 計 9 校 期間／令和 5 年 8 月から令和 6 年 1 月まで (各校 10 回実施) 会場／各小学校体育館またはグラウンド等 ○スポーツ少年団本部負担金 ・本部大会 (野球、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道、サッカーの 6 競技) ・指導者講習会、技術指導講習会、酒田遊佐交流大会 ・会報作成 他				
2	生涯スポーツ推進事業	延べ参加者人数 (市体育大会・ウオーキング)	4,500 人	6,947 千円
(事業概要) ○「市体育大会」「ラン&ウオーキング」などのスポーツイベントを開催する。 ○市が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修を行い、地域における「コーディネーター・指導者」として、体育振興会と協力しながら各地区のスポーツ振興を図る。				